

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成28年 6月30日

和歌山県知事

殿



提出者

住所 大阪市浪速区湊町1丁目4番38号

近鉄新難波ビル

氏名 大日本土木株式会社大阪支店

執行役員支店長 丹羽 譲

電話番号 06-6632-7105

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成27年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大日本土木株式会社 和歌山営業所管内作業所 (和歌山市域を除く)
事業場の所在地	和歌山市広道17番地 T&Tビル
事業の種類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	370t	全処理委託量	370t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への 処理委託量	30t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への 処理委託量	368t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への 処理委託量	0t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設工事の木くず)

有 傷 物 量
---------

不要物等発生量

自ら直接  
再生利用した量  
②

排 出 量
-------

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
③

項目	実績値
----	-----

自ら中間処理  
した量  
④自ら中間処理によ  
り減量した量  
⑦自ら中間処理した後  
自ら埋立処分した量  
⑨自ら中間処理した後  
自ら埋立処分した量  
⑨自ら中間処理した後  
自ら埋立処分した量  
⑪自ら中間処理した後  
自ら埋立処分した量  
⑪自ら中間処理した後  
自ら埋立処分した量  
⑫自ら中間処理した後  
自ら埋立処分した量  
⑫①排出量  
②+③自ら再生利用を行った量  
⑤自ら熱回収を行った量  
⑦自ら中間処理により減量した量  
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量  
⑩全処理委託量  
⑪優良認定処理業者への処理委託量  
⑫再生利用率業者への処理委託量  
⑬熱回収認定業者への処理委託量  
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量自ら中間処理した後  
再生利用した量  
⑧⑪のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫ 2.2 t⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑬⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
⑭⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量  
⑮自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
⑩直接及び自ら  
中間処理した後の  
処理委託量  
⑯

⑩ 2.2 t

⑯

## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート破片 )

有 傷 物 量
---------

不要物等発生量

自ら直接  
再生利用した量  
②

押 出 量
-------

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
③

項目	実績値
----	-----

①排出量 113 t

項目	実績値
----	-----

④自ら中間処理  
した量 113 t⑥自ら中間処理  
した後  
の残さ量  
⑥

項目	実績値
----	-----

⑦自ら中間処理によ  
り減量した量  
⑦⑨自ら中間処理した後  
の処理委託量  
⑨

項目	実績値
----	-----

⑩自ら熱回収を行った量  
⑩ 113 t⑪自ら中間処理した後  
の処理委託量  
⑪

項目	実績値
----	-----

⑫自ら優良認定  
処理業者への  
処理委託量  
⑫ 113 t⑬熱回収認定業者への処  
理委託量  
⑬

項目	実績値
----	-----

⑭熱回収認定業者以外の  
熱回収を行う業者への処  
理委託量  
⑭自ら中間処理した後  
再生利用した量  
③⑮のうち再生利用  
業者への処理委託量  
⑮⑯のうち熱回収認定  
業者への処理委託量  
⑯⑰のうち熱回収認定  
業者以外の  
熱回収を行う業者  
への処理委託量  
⑰⑱のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量  
⑱

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスコン破片)

有 傷 物 量
不要物等発生量

自ら直接再生利用した量
②

排 出 量
① 48 t

自ら直接理立処分又は海洋投入処分した量
③

項目	実績値
①排出量	48 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	48 t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨

自ら中間処理した後の残さ量
⑥

自ら中間処理により減量した量
⑦

自ら熱回収を行った量
④のうち熱回収を行った量

自ら中間処理により減量した量
⑤

⑩のうち再生利用率への処理委託量
⑫ 48 t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑪

直接及び自ら中間処理による減量
⑩

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 48 t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑭

⑩のうち優良認定業者への処理委託量
⑮ 48 t

(第2回)

## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 安定型建設混合廃棄物 )

有 債 物 量
---------

不要物等発生量

自ら直接  
再生利用した量  
②

排 出 量
-------

① 0.26 t

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
③

項目
----

④ 実績値  
0.26 t自ら中間処理  
した量  
⑥自ら中間処理した後  
の残さ量  
⑨

②+⑧自ら再生利用を行った量
----------------

自ら熱回収を行った量  
⑤

⑥自ら埋立処分を行った量
--------------

自ら中間処理により減  
量した量  
⑦

③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量
----------------------------

自ら中間処理により減  
量した量  
⑧

⑩全処理委託量
---------

0.26 t

⑪優良認定処理業者への 処理委託量
----------------------

0.26 t

⑫再生利用業者への処 理委託量
--------------------

0.26 t

⑬熱回収認定業者への処 理委託量
---------------------

0.26 t

⑭熱回収を行う業者への処 理委託量
----------------------

0.26 t

自ら中間処理した後  
再生利用した量  
⑧

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。